

2014年8月8日

2014年カーボンブラック需要年央見直し

カーボンブラック協会

7月の月例経済報告では、景気は緩やかな回復基調が続いており、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつある。

先行きについては、当面、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により一部に弱さが残るものの、次第にその影響が薄れ、各種政策の効果が発現するなかで、緩やかに回復して行くことが期待される。

ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。

こうした経済展望の中で、カーボンブラック需要の主力製品である自動車タイヤの需要について(社)日本自動車タイヤ協会が年央の見直しを発表した。

これによると、国内需要見通しは年間で前年比99%に修正された。これは、当初の見通しに対し2ポイントの上方修正である。

一方、輸出向けは年間の地域合計では、前年比で当初見通しより1ポイント減の104%に修正された。

当協会は、上述の(社)日本自動車タイヤ協会見直しをベースに、その他の需要分野の情勢等も織り込んで、本年のカーボンブラック需要の見直しを行った。

その結果、カーボンブラック総需要(輸出・輸入込み)は、年間で前年比 99.6%となった。これは、年初見通しより0.6ポイントの上方修正である。

「需要見通しの指標」については、添付別紙【表1】を、「カーボンブラック需要見直し」については、【表2】を、輸入見直しについては【表3】を参照願いたい。

以上

【表1】 2014年年央見直しの指標

『年初見通し』の前年比は前年見込み比%

	2013年実績		2014年年初見通し		2014年年央見直し	
	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)
自動車生産 (台)	9,630,070	97	9,307,000	97	9,570,000	99
タイヤ生産 (トン)	1,127,950	98	1,129,590	99	1,124,560	100
一般ゴム生産 (トン)	270,250	99	262,810	98	265,000	98
新ゴム消費量計(トン)	1,398,200	98	1,392,400	99	1,389,560	99

【表2】 2014年カーボンブラック需要年央見直し

数量単位:トン、『年初見通し』の前年比は前年見込み比%

	2013年実績		2014年年初見通し		2014年年央見直し	
	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)
タイヤ	569,615	97.4	567,054	98.5	564,529	99.1
一般ゴム	154,042	97.2	149,802	98.2	151,050	98.1
ゴム用計	723,657	97.3	716,856	98.4	715,579	98.9
非ゴム	36,876	100.4	37,000	100.3	37,201	100.9
内需計	760,533	97.5	753,856	98.5	752,780	99.0
輸出	45,675	109.9	48,872	107.0	49,920	109.3
[内ゴム用計]	13,561	85.0	14,466	106.7	13,516	99.7
総需要	806,208	98.1	802,728	99.0	802,700	99.6
[内ゴム用計]	737,218	97.1	731,322	98.6	729,095	98.9

【表3】 2014年カーボンブラック輸入動向年央見直し

数量単位:トン、『年初見通し』の前年比は前年見込み比%

	2013年実績		2014年年初見通し		2014年年央見直し	
	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)	数量	前年比 (%)
ゴム用	155,509	95.2	159,210	101.8	168,088	108.1
非ゴム用	15,411	116.5	14,790	101.8	16,612	107.8
合計	170,920	96.8	174,000	101.8	184,700	108.1